



Title	世界禁煙デーのイエローグリーンライトアップ：受動喫煙のない日本への願い
Author(s)	野上, 浩志
Citation	目で見えるWHO. 2025, 94, p. 12-13
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/103609">https://doi.org/10.18910/103609</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 世界禁煙デーのイエローグリーンライトアップ： 受動喫煙のない日本への願い



一般社団法人日本禁煙学会・大阪支部、子どもに無煙環境を推進協議会

野上 浩志 (のがみ ひろし)

1980年頃から四十数年余、受動喫煙防止と禁煙推進に係わってきた。  
全国レベルの禁煙ポスター・標語コンテストを主催した他、タバコ対策の提案・  
提言などを行っている。



子どもに無煙環境を推進協議会HP：  
<https://notobacco.jp/muen2/>

## 受動喫煙をなくす願い： イエローグリーンライトアップ の施設が前年の1.8倍増に

WHOの提唱する世界禁煙デーの5月31日から6月6日までの禁煙週間には、全国各地でタバコの害をなくす啓発パネル展やセミナーなどとともに、3年くらい前から、城の天守閣、タワー、スタジアム、灯台や滝、自治体庁舎・施設などを、各地で工夫をこらし多彩にイエローグリーンにライトアップ (YGL) する取り組みが増えてきています。(YGLは施設側にライトアップの設備があれば、ほぼ電

気代の負担協力で実施できるようです)

近畿では、大阪城天守閣 (写真1)、天保山観覧車、万博記念公園「太陽の塔」、中之島図書館、京都タワー、大津港びわこ花噴水 (写真2)、明石市立天文科学館 (写真3) など23施設がライトアップされました<sup>1)</sup>。

全国的にもライトアップの自治体・医師会・団体による主催数は、2023年は18、2024年は55、2025年は98と前年比約1.8倍増となりました (YGLの施設数としては少なくとも335か所<sup>1)</sup>)。一例として、つくばエキスポセンターのライトアップを写真4に示しました。

## 都道府県と全国の市町村へ YGLの情報提供のメールを送付

国の第三次健康日本21とその地方計画が2024年4月から開始され、これから健康増進計画では「健康寿命の延伸、健康格差の縮小」が基本目標として掲げられており、この目標達成のためにはタバコ・受動喫煙対策が重要です。

私たちは、国や自治体の健康増進計画

のパブリックコメントへの意見として、「受動喫煙防止と禁煙推進による健康寿命の延伸」のための啓発方法として、YGLに取り組むことが視覚的な認知 (気付き) と浸透に有効と考えられる旨の提案・意見をこれまでも送ってきました。今年初めの「こども計画」でも、「子どもたち・妊婦の受動喫煙防止は本計画・プランの基本要件であり、世界禁煙デーにおけるYGLとの連携が有効」との提案・意見を送りました<sup>2)</sup>。

これらの点を踏まえ、世界禁煙デーのイベントとYGLとの連携 (協働) の提案として、今年前半には、全国の自治体などに「【情報提供】5/31世界禁煙デーのイエローグリーンライトアップを各地施設で実施を：日本列島をライトアップで輝かせ、受動喫煙をなくす啓発事業への自主的な参加と連携を」呼びかけるメールを送信しました。

6月7日にオンラインセミナー「タバコ対策で健康寿命をのばそう!」を企画・開催



写真1 大阪城のライトアップ



写真2 滋賀県大津港びわこ花噴水のライトアップ



写真3 明石市立天文科学館のライトアップ  
(明石市の許可をえて掲載)



写真4 つくばエキスポセンターのライトアップ  
(つくばエキスポセンターの許可をえて掲載)

本会では、上記と並行して、啓発と連携の実効性を高めることを目的に、世界禁煙デー後の6月7日にオンラインセミナー「世界禁煙デー協賛:いのち輝け「タバコ対策で健康寿命をのばそう!」健康寿命を延ばすためのタバコ対策と課題、大阪府条例、妊婦禁煙支援の課題、YGLの事例」の開催を企画しました<sup>3)</sup>。(日本WHO協会の後援もいただきました)

対面でのセミナー開催は経費などで難しいため、Zoom ウェビナーを用いたオンライン形式とし、この様子を YouTube で配信することで、大阪府内だけでなく全国各地からの参加・視聴が見込める可能性があると考え、実施しました(図1)。

このセミナーには、当日110人が参加し、2日後に公開したYouTubeでは、7月6日までに延べ3,000人余の方々の参加・視聴がありました。(次回のセミナーは2025年10月4日に開催します)

## 受動喫煙をなくす願い: YGL を広げ「健康寿命をのばす大阪・日本」を目指して

各組織の自主的なライトアップに加え、日本禁煙学会や医師会等からの広報や呼びかけ、また本会からのYGLに関する情報提供にもご協力いただくなどで、今年のYGLへの参加数は前年比約1.8倍増となり、受動喫煙防止とYGLとの連携は着実に進んでいます。世界禁煙デー

関連のイベントとの相乗効果も期待され、夜間照明ではあるものの、メディアやインターネット、SNS 情報を通じて情報が拡散され、多くの人が受動喫煙をなくす重要性に気づくきっかけとなる視覚的な啓発効果を発揮していると考えられます。

世界禁煙デーに、YGL の実施を積み重ねていくことは、受動喫煙をなくし、喫煙率の低下および喫煙者数の減少につながると考えられ、今後は、企業の健保などとの連携による喫煙者の行動変容の促進、禁煙外来や相談窓口への広報の周知、健康増進法や受動喫煙防止条例の整備や強化を促す世論の形成といった、多方面からの継続的な取り組みが不可欠です。また、コクミン薬局が禁煙週間に禁煙相談を受け付けた事例<sup>4)</sup>のように、禁煙支援や健康づくりに関連する多様な

分野からの参加や連携が今後ますます重要になると思われます。

ライトアップは、世界脳卒中デーなどの疾患予防を含む啓発活動に活用されてきていますが、YGL は、日本において受動喫煙が原因で年間少なくとも1万5千人が死亡していると推定される現状<sup>5)</sup>を踏まえ、予防可能な事態であることから、2035年までの「第三次健康日本21」における受動喫煙をなくし「健康寿命をのばす」ミッション達成に向け、イベントなどとYGLとの連携をさらに強化し、協力を拡大することで、「5/31には日本列島がライトアップで輝き、受動喫煙のない大阪・日本」の実現を目指し、今後も啓発活動を継続していきたいと考えています。

### 【引用資料】

- 1) 2025/5/31 世界禁煙デーから禁煙週間の各地のイベントとYGLの紹介 [https://notobacco.jp/pslaw/2025.5.31wntd\\_event.htm](https://notobacco.jp/pslaw/2025.5.31wntd_event.htm)
- 2) 「愛媛県こども計画(案)」への意見 <https://ameblo.jp/tobaccofreeosaka/entry-12915813168.html>
- 3) 世界禁煙デー協賛:いのち輝け「タバコ対策で健康寿命をのばそう」大阪支部主催オンラインセミナー 2025.6.7 <https://notobacco.jp/jsc/osakaseminar2506.pdf>
- 4) コクミン:令和7年「禁煙週間」のお知らせ(各店で禁煙相談を実施)します <https://www.kokumin.co.jp/news/release20250520>
- 5) 厚生労働省資料「日本では受動喫煙が原因で年間1万5千人が死亡」 <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisaku-jouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000130674.pdf>

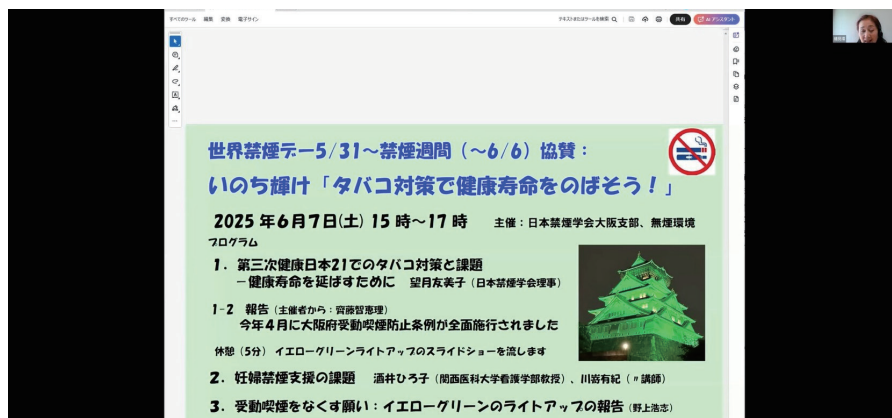


図1 6月7日のオンラインセミナーの冒頭(YouTube)